

持への動機付けのため、必要な  
検診の受診を条件に、一定期間  
に医療機関を受診しなかった  
国民健康保険の被保険者に記  
念品や報奨金を贈ることにつ  
いての考えを伺いたい。

**答** 全国の一部保険者において、  
一定期間、医療機関を受診し  
なかつた世帯に奨励金や健康  
グッズ等を贈呈する事業を行っ  
ていることは認識している。具  
体的には、生活習慣病の早期  
発見と重症化予防を目的とし  
て実施している特定健診を受  
診していただくことを条件と  
するものである。

現在、国においては、個人に  
対する健康・予防インセンティ  
ブ方策を策定中であり、その  
中には各保険者が一定の基準を  
満たした被保険者に対し、保  
健事業として現金給付などを  
実施できることも検討している  
とのことであるため、今後、国  
が示す内容を基に研究してい  
きたい。

**その他の質問事項**

- ・平成25年度決算について
- ・移住者・定住者の誘致につ  
いて
- ・子ども・子育て支援新制度  
について
- ・地域医療・介護について

**細谷 菜穂子 議員**

(政明クラブ)

**○水害対策について**

**問** 昨年の水害を踏まえ、一宮  
川及び阿久川などの支流につ  
いて、堆積土の撤去及び草木の  
伐採を年一回行う体制が必要  
と考えるがどうか。

また、比較的安全な場所の  
草木の伐採等は、市民の手を  
借りる事も考えてはどうか。

**答** 市としては、河川の適切な  
維持管理が必要と考えており、  
県が管理する河川の管理状況  
の改善について、毎年、要望を  
行っている。

一宮川については、堆積土の  
撤去及びメダケの伐採が今年  
7月末までに完了し、一定の流  
下能力が回復しているものと  
考える。

阿久川等の支流については、  
現在の堆積状況及び草木の繁  
茂状況から、流下能力が低下  
していることが懸念されるため、  
管理状況の改善を早期に実施  
するよう、機会あるごとに要  
請している。

また、二級河川の草刈りや  
竹の伐採については、既に市が  
行っている箇所や河川愛護団体  
など市民の手によって行われて

いる箇所があるため、現在の  
取り組みを維持するとともに、  
新たな場所ができるかどうか、  
長生土木事務所と協議したい。

**○教育について**

**問** 学校の給食は、日本の食  
文化を教える良い時間である。  
市内の小中学校の給食において  
日本のお米の文化を大切に捉  
えるためにも、地元米による  
米飯給食を多く取り入れる施  
策が重要。週5日のうち、ど  
れくらい米飯はあるのか伺う。

**答** 米飯給食は、日本の伝統的  
な食生活の根底である米飯の  
望ましい食習慣の形成や、地  
域の食文化を通じた郷土への  
関心を深めることなどの教育  
的意義を踏まえ、その推進を  
図ってきた。

本市では昭和51年度から  
月に1回の米飯給食を開始し、  
現在は週平均で3・5回実施  
しているが、今後も、地元産  
米を中心とした米飯給食を拡  
充できるように検討していく。



**その他の質問事項**

- ・在宅介護の行政支援について
- ・潜在している看護師等の発  
掘について
- ・学童保育の充実について

**道脇 敏明 議員**

(もばら21)

**○公共施設の維持補修について**

**問** 公共施設の老朽化が進み、  
今後は集中して更新時期を迎  
える。総務省は長寿命化に向  
けて総合的かつ計画的な管理  
を推進するために、公共施設  
等総合管理計画の策定を通達  
した。そこで、当市での策定  
スケジュール及びその内容に  
関し伺う。

**答** 公共施設等総合管理計画  
については、全国的に公共施設  
の老朽化対策が大きな課題と  
なっており、今後、多大な財  
政負担が見込まれることから、  
本年4月22日に国から各自治  
体に対し策定要請がなされた  
ところである。

本市においては、今年度中  
に今後の施設のあり方を検討  
するための基礎資料として公  
共施設白書を作成し、来年度  
からは市民の方々にも参画して

いただき、公共施設等の総合  
的かつ計画的な管理に関する  
基本方針を策定した後、平成  
28年度には施設類型ごとの再  
配置に関する考え方を整理し  
ていきたい。

**○学校施設の適正配置について**

**問** 文科省は学校施設の適正  
配置についての新たな指針をま  
とめ、年内にも通知する方針  
である。小中学校は地域の精  
神的支柱とも言うべき側面も  
担っている重要な公共施設であ  
る。当市の学校施設の適正配  
置に関する見解を伺う。

**答** 本年7月29日には、政府が  
「統廃合に関する指針を見直  
す」との新聞報道があり、本  
市においても学校教育法施行  
規則に示された学級数の標準  
を下回る学校が増えてきてい  
る。急激に少子化が進行する  
中、子どもたちのよりよい教  
育環境の整備と教育の質の充  
実を図るため、本市としての  
小中学校の適  
正規模・適正  
配置のあり方  
について検討  
することが必  
要であると考  
える。

